

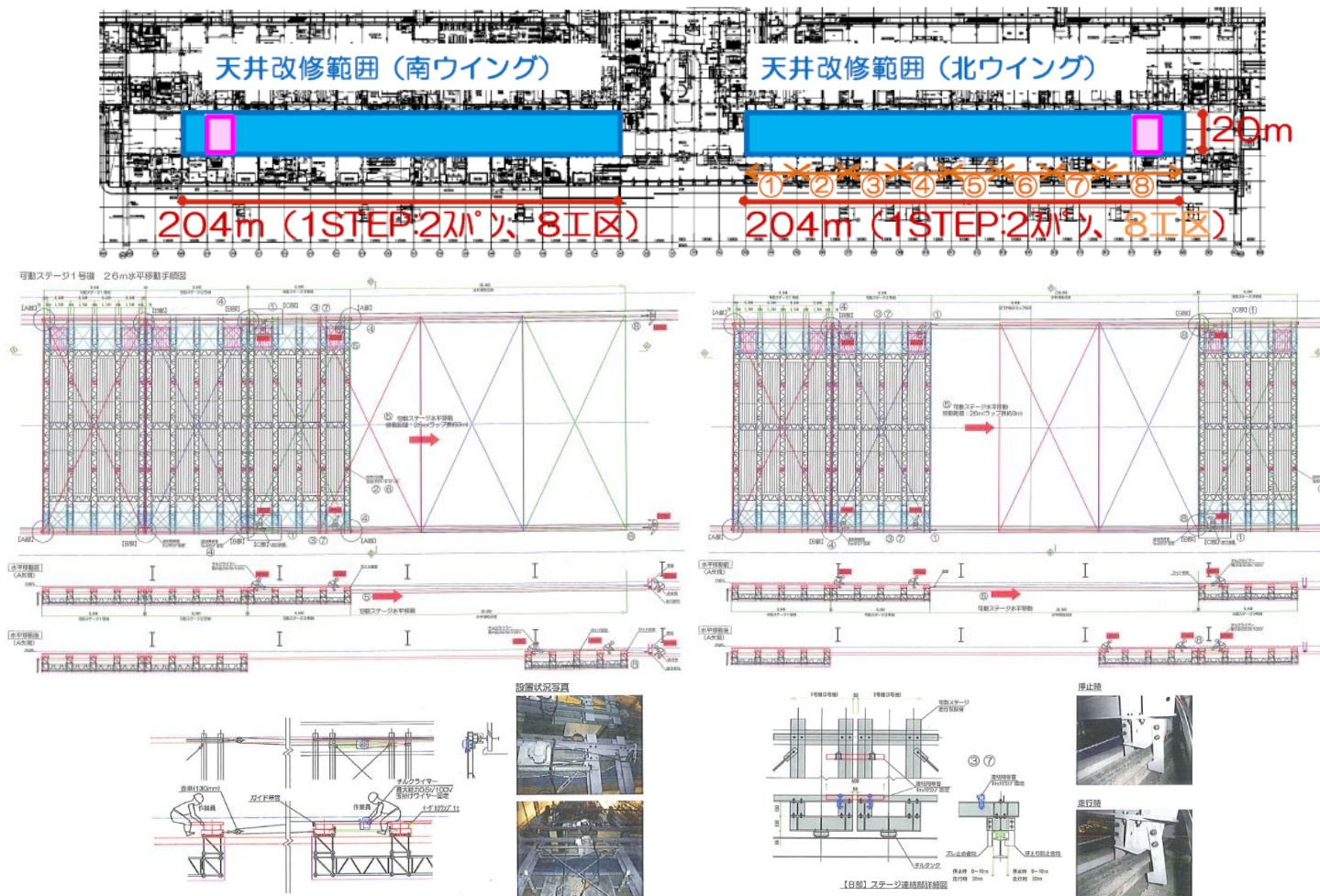
□ 工事概要



工事名称	東京国際空港（羽田）第1旅客ターミナルビルリニューアル工事
所在地	東京都大田区羽田空港-3-3-2
建築主	日本空港ビルディング株式会社
設計・監理・施工	総合設計：株式会社梓設計 設計・監理：株式会社竹中工務店 1級建築士事務所
建物用途	国内線出発ロビーターミナル
建物階数、高さ	改修場所 3階
建築面積	改修面積 約10,000㎡
構造種別	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
工期	2011年02月01日～2011年11月30日
工法	リフトアップ・ダウン。トラベリング工法
可動ステージ仕様	幅20m×長さ9.5m×3台（片側）南（3台）北（3台）
移動階数	移動距離（片側）26m×9回
移動距離	（片側）約200m
リフトダウン装置	チルクライマー（100V）片側2台、
備考	

本工事は東京国際空港（羽田）第1旅客ターミナル出発ロビー天井改修工事において①空港利用客（1日8万人）・館内職員への影響を最小限に迎えるために既存ゴンドラレールを利用したトラベリングステージ（可動ステージ10m×20mBOXトラスステージ）を片ウイングに3基組立を行い天井改修工事用足場とし旅客動線への影響無しとした。天井改修工事が完了後チルクライマー（100V）×2台で可動ステージをトラベリングさせ（移動距離26m）次の天井改修作業へと片側9回のトラベリングを実施した。

□ トラベリング工法

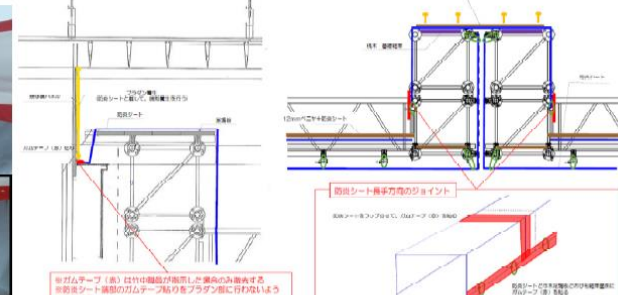


□ 可動ステージ内養生要領

ステージの養生は重要な養生位置（剥すと材料の落下の危険）また、養生のジョイント・固定部が剥がれていてもわかりづらいことから、養生の最終ライン及び養生ジョイント部は赤ガムテープを貼り付けた。これにより重要な養生位置が一目でわかり剥がれているところがわかりやすくなった。また天井ルーバーが新設に変わった場所（可動ステージ移動時）にはヘリキャップを着け天井を傷つけないよう対応した。



トラベリングステージ養生状況



トラベリングステージ養生計画図



□ 可動ステージ設置写真

